

<b>標 題</b>	<b>GAPの芽が動き出しています！ ～石西地域GAP推進チームで一体的に推進～</b>
------------	--

(ダイジェスト)

益田圏域では平成30年6月29日に石西地域GAP推進チーム（以下、推進チーム）を設置し、関係機関一体となってGAPの推進に取り組んでいます。今年度はパイロットプロジェクト地域計画に基づき、まずGAPに取り組む必要性について理解を促すための研修会を開催し、その後、美味しまね認証取得に向けた研修会を開催しました。その結果、9名が1年以内に美味しまね認証取得を希望され、GAPへの取り組み、美味しまね認証取得の気運が高まっています。

チーム設置以降、関係機関の担当者に対しては理解促進のための研修会や、美味しまね認証現地審査への立会等の活動を行い、GAPの推進体制の構築に努めてきました。一方、生産者に対しては各生産部会の総会等を活用してGAPのPR、益田市認定農業者連絡協議会の研修会でGAPをテーマにした講演など啓発活動を実施してきました。しかしながら、「GAPに取り組むこと＝認証取得」というイメージが先行して、GAPに取り組む本来の目的が十分に理解されていませんでした。

そこで、令和元年11月28日に「どうしてGAPに取り組むの？～改めて学ぶGAPに取り組む意義～」と題して、改めてGAPの目的を理解する研修会を開催しました。講師の安心農業株式会社 代表取締役社長 藤井淳生氏の「GAPの目的はまず自分の労働安全を確保するため。基準書は正しい農業のやり方の教科書である。市場は急激に変化する可能性がある。」といった分かりやすい説明により、アンケート回答者の約8割から「GAPの必要性を強く感じた」と回答がありました。

また、この研修会終了後に「美味しまね認証制度について勉強したい」との希望があったため、令和2年1月27日に農産園芸課食の安全推進室担当者を講師に、美味しまね認証研修会を開催し、手続きの流れ、提出書類、基準書に基づき具体的に準備する事柄など、認証取得に向けたより実践的な内容としました。上位基準は項目数が多く、短時間で十分に理解してもらうことは難しいにも関わらず、アンケート回答者の過半数の18名が2～3年以内（うち9名が1年以内）に認証を取得したいと回答され、出席者の意識と意欲の高さを感じました。

益田普及部では、既認証取得者の上位基準への移行希望者とともに、今回認証取得を希望された生産者に対しても認証取得希望時期を確認した上で、推進チームで連携して計画的な認証取得支援を行っていく予定です。



GAP推進研修会の様子